

討論

会派人数により文字数に違いがあります。

さらなる県水受水費の減少をすべき 水道事業会計決算に反対

日本共産党(守谷 浩一 議員)

平成28年度水道事業会計決算の認定及び未処分利益剰余金の処分について、1立方メートル当たりの供給単価が給水原価を上回り、その差額は4円96銭となり、逆ざやが解消されました。この大きな要因は、神奈川県内広域水道企業団の財政計画の改定に伴い、県水受水費が基本料金と従量料金を合わせ、平均改定マイナス7.9%となったこと

平成28年度一般会計決算 就労支援策の成果を高く評価

ざまま進会(佐藤 弥斗 議員)

一般会計決算の歳出では、増加する民生費の中で生活保護費のみ前年度比44万1千円の減です。就労支援策において、ケースワーカー、就労支援員、ハローワークの連携を密にし、きめ細かい支援が行われ、就労相談会や模擬面接会の継続的な実施により就労実績が増えたことを高く評価します。また児童福祉費は、



水道会計決算に反対 局庁舎整備事業は手続きも問題あり

会派に属さない議員(沖永 明久 議員)

上下水道局庁舎整備事業は、事業方式の妥当性のみならず、深刻なことは、事業の推進過程における手続の問題です。PPP事業ありきで進められ

コンビニペイジー収納の利用率向上 財源確保に向けた取組みを評価

自民党・いさま(竹田 陽介 議員)

議案第51号、平成28年度座問市一般会計歳入歳出決算の認定について、歳入歳出決算の規模は歳入決算総額413億7770万8860円で対前年度比11.2%の増、歳出決算総額は402億8964万6169円で対前年度比2.2%の増と過去最高の決算額となりました。歳入の根幹である市税収入額は184億6892万4525円で対前年度比マイナス2%、3億6820万9539円の減、歳入全体に占める割合は44.6%、対前年度比1.5ポイントの減となりました。このような中、市税の収納については、平成26年度に開始したコンビニペイジー収納制度が市民に浸透してきており、特に軽自動車税は、平成26年度の40%の利用率が平成28年度は83.6%の利用率となりました。また、地道な財産調査、滞納処分、不動産公売等を積極的に進め、市税全体では収納率が0.6ポイント上回り、収入未済額は1億2239万4628円減少しており、当局の取り組みを評価します。



扶助費増大への懸念を恐れぬ 大幅予算増とその執行に賛意

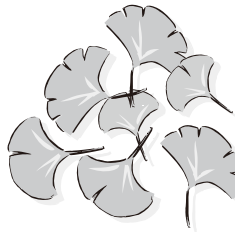
会派に属さない議員(安海 のぞみ 議員)

全ての国民の権利としての社会保障、それが福祉の根本です。その理念を成就せしめるのが適正なる予算立て及び執行にほかなりません。国や

下水道事業の公営企業法適用を評価

公明党(安田 早苗 議員)

議案第56号、平成28年度座問市公共下水道事業会計決算の認定及び未処分利益剰余金の処分について、当年度は、本市公共下水道事業が特別会計から公営企業会計に移行した初めての決算となりました。公営企業法を適用し、これまでの単式簿記から複式簿記に変わり、損益計算書において経営状況を、貸借対照表においては財政状態を把握することができ、市民に対しより多くの情報を開示したことで、経営の透明性の向上が図られました。さらに、水道事業に加え公共下水道事業も公営企業となり、同時に公営企業管理者の設置や市長部局から上下水道局への移行など大幅な



中学校給食の申し込みを 継続しない理由の検証を期待し賛成

会派に属さない議員(加藤 陽子 議員)

保護者アンケートによると、申し込みだことがある方は70.5%でしたが、実際の申込率は3割未満で、申し込みをしても継続していない家庭が

予算で網羅した 各施策や事業の着実な推進を評価

ざまま志会(池田 徳晴 議員)

厳しい財政状況の中、第四次座問市総合計画基本構想の将来目標を推進するため、実施計画を最優先に執行し、また市税の減収や制度変更への対応、交付金を活用した事業の執行など、当初予算で網羅した各施策、事業を確実に実施されたことを評価します。また、危機意識と緊張感を持ち、新たな社会情勢の変化



23・公明党、ざまま志会行

政視察：兵庫西宮市、淡路市、洲本市(25)

26・関東市議会議長会正副

会長会議・支部長会議・第1回理事会

30・高座清掃施設組合議会第2回定例会

31・厚木基地周辺市議会基地対策協議会実行運動

：防衛省、外務省、総務省

11・1・全国市議会議長会基地協議会関東部会総会：海老名市

2・議会だより編集委員会

6・自民党・いさま行政視察：鹿児島県日置市、南九州市、始良市(8)

9・全国都市問題会議：沖縄県那覇市(10)

13・全国市議会議長会基地協議会第89回理事会：東京都千代田区

